

第51期中間報告書

(平成19年2月1日～平成19年7月31日)

証券コード：7956



社団法人発明協会 第29回未来の科学の夢 絵画展 幼稚園の部 奨励賞「もりをつくるこんちゅうロボ」
山梨大学教育人間科学部附属幼稚園(山梨県甲府市) 中嶋 武尊ちゃん
森を壊して、街にする機械はあるけれど、街を森にする事は、
なかなか出来る事ではないと聞いたので、大好きなカブト虫のために考えました。

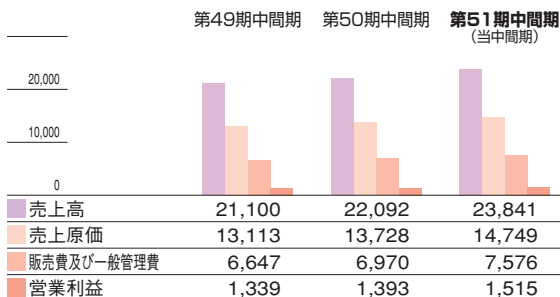
決算ハイライト

売上 7.9%増 (連結売上高/前年中間期比)

国内では、テレビ番組の提供やマタニティイベントの実施等、積極的にダイレクトコミュニケーションを行い、ブランド再構築に努めました。また、海外では新商品の投入とブランド構築に傾注した販売戦略を行い、前中間期に比べて17億49百万円増の238億41百万円となりました。

売上高と原価・経費の推移

(単位: 百万円)

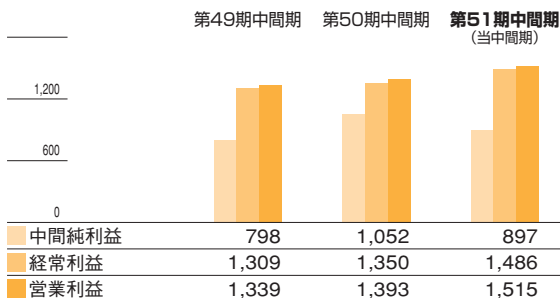


損益 10.1%増 (連結経常利益/前年中間期比)

海外事業の拡大と堅調な国内市場の業績に加え、原価および販売費上昇の抑制に努めたことで、営業利益は前中間期比8.8%増の15億15百万円、経常利益は10.1%増の14億86百万円となりました。なお、中間純利益については前中間期に計上した固定資産売却益がなくなり、前中間期比14.7%減の8億97百万円となりました。

利益の推移

(単位: 百万円)

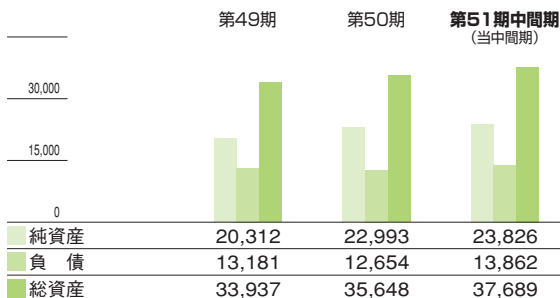


資産 5.7%増 (連結総資産/前期末比)

流動資産が前期末に比べて18億75百万円、固定資産が1億66百万円増加したことにより、総資産は前期末比で20億41百万円増の376億89百万円となりました。流動資産の増加要因としては、現金及び預金が4億76百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が12億52百万円増加したことがあげられます。

財務の構成

(単位: 百万円)



※第49期の純資産には少数株主持分は含まれておりません。



平成19年10月 代表取締役社長

大越 昭夫

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご支援に対して、厚く御礼申し上げます。私どもは、お陰様をもちまして、本年8月15日に会社設立50周年を迎えることができました。これも皆様方のご支援の賜物であります。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。

今第51期は、第二次中期経営計画「企業価値の創造21“グローバル500”」の最終期という大きな節目の期として、ピジョングループ一丸となり、計画達成に向け邁進してまいりました。そして、今中間期におきましては、引き続き海外事業が中国、アメリカを中心に好調に推移しております。また、7月には、今後の事業展開において大きく成長することが期待されるインターネット通販事業を、連結子会社であるピジョンホームプロダクツ株式会社より承継いたしました。今後、現在展開しておりますポータルサイト「pigeon.info」との連携を図りながら、新たな販売チャネルとして活用していくことを計画しております。

さらに、ピジョンブランドをより一層強化するために、4月より、テレビのミニ番組の提供を始めております。赤ちゃんのいる生活の素敵な瞬間を切り取った番組となっています。是非、ご覧になっていただきたいと思っております。

今期最大の課題として取り組んでおりますヘルスケア事業に関しましては、8月に新ブランド「リクープ」を立ち上げました。この「リクープ」を、介護予防ブランドとして位置づけ、従来の介護ブランド「ハビナース」との二本柱で、老化メカニズムの研究成果を生かし、商品展開をしてまいります。

また、現在、第三次中期経営計画の策定を行っております。ピジョングループの次の50年、100年に向けて、継続的な更なる成長戦略を描けるよう、今期課題をしっかりと遂行しながら、株主の皆様のご期待に応えるべく、次の三年間を見据えてまいります。

株主の皆様におかれましては、これまで同様、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国内景気の回復基調が継続する一方で、少子化傾向が続くなど市場の成熟化が進んでいます。当社グループでは育児用品のリーディングカンパニーとしてのブランドを再構築することに注力いたしました。また、中国を中心とした東アジア、北米・ヨーロッパ市場におきましては、順調に業績を向上させております。

当中間期の業績（連結／単体）

連 結		
売上高	238 億 41 百万円	(7.9%増)
営業利益	15 億 15 百万円	(8.8%増)
経常利益	14 億 86 百万円	(10.1%増)
中間純利益	8 億 97 百万円	(14.7%減)

単 体		
売上高	152 億 63 百万円	(1.4%増)
営業利益	2 億 32 百万円	(11.2%減)
経常利益	6 億 79 百万円	(28.5%増)
中間純利益	6 億 19 百万円	(16.3%減)

事業別の概況

育 児 事 業

売上高	189 億 17 百万円	(9.9%増)
営業利益	26 億 90 百万円	(5.5%増)

●国内育児用品事業

国内育児用品事業については、厳しい市場環境の中、ピジョンブランドの浸透を図るため、4月からテレビ番組の提供を開始するとともに、32回にわたってマタニティイベントを実施するなど、積極的にダイレクトコミュニケーションに努めました。また、「母乳実感」および「UVスキンケア」のラインナップを増強しております。加えて、当社主力商品である「おしりナップ」「母乳パッド」等の売上が堅調に推移しております。



「母乳実感」



「UVスキンケア」

●子育て支援事業

事業所内保育園の運営に関しては、新たに中部国際空港株式会社の保育園の運営を受託しました。一方、公設民営化の保育園運営受託に関しては、既存保育

施設の安定的運営を目指しております。また、他社との競争優位性を維持するため、保育士の教育体制を「ピジョン・ハートナー・オープンカレッジ」として整備し、保育の質の向上に注力しています。

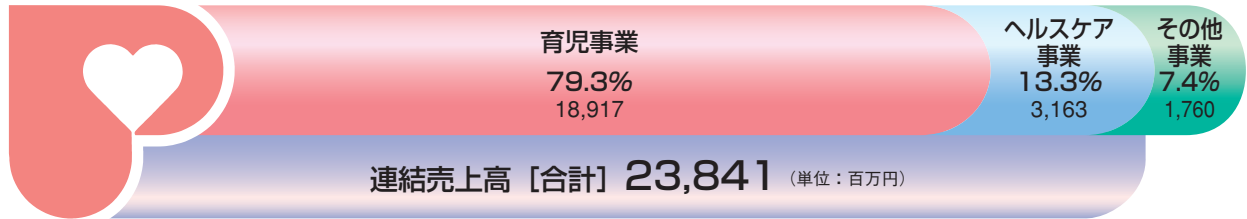
●海外事業

海外事業については、新商品の投入とブランド構築に傾注しました。中国、アメリカを始めとするほぼ全てのエリアで前年同期実績を上回る業績を達成することができました。とくに中国においては、『金の豚年』効果もあり、大都市圏での販売店の拡大だけでなく、地方都市に対する市場拡大も着実に進行了ました。商品別売上実績では、中国市場を中心に哺乳器や乳首、トイレットリー商品が好調で、主力商品の拡大と新商品の導入により各国の売上・利益の向上に貢献しました。また、連結子会社間の生産と販売の相乗効果が発揮され、各社とも業績を拡大いたしました。



「中国小売店頭（ピジョンコーナー）」

事業別売上高構成比



ヘルスケア事業

売上高	31 億 63 百万円	(1.5%減)
営業利益	1 億 24 百万円	(29.0%減)

ヘルスケア事業については、将来の成長を見据えた事業分野です。1月に、ヘルスケア事業全体のマーケティングおよび営業を統括する組織として「HHC・介護事業本部」を設置し、事業基盤の強化と成長に向けた体制作りに取り組んでまいりました。新商品およびリニューアル商品も上市いたしました。当中間期においてはグループ内の商品統合等の課題もあって厳しい状況で推移いたしました。



「快適パッド」

その他事業

売上高	17 億 60 百万円	(5.7%増)
営業利益	2 億 37 百万円	(33.4%増)

マタニティ向けインナーウエアを製造販売する連結子会社ピジョンウィル株式会社の業績が好調でした。また、妊娠・授乳期に必要な栄養素を一粒に配合したビタミンサプリメント「葉酸プラス」(保険機能食品)の売上の増加、中国における女性向けスキンケア用品の発売等によって、順調に業績を伸ばすことができました。さらに、7月に連結子会社であるピジョンホームプロダクツ株式会社から承継したインターネット通販事業「ピジョンモール」も順調に推移しております。



「ピジョンウィル展示会」

● 連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

	第51期中間期末 平成19年7月31日現在	第50期中間期末 平成18年7月31日現在	第50期末 平成19年1月31日現在
資 産 の 部			
流動資産	19,082	17,233	17,207
固定資産	18,606	18,141	18,440
1 資産合計	37,689	35,374	35,648
負 債 の 部			
流動負債	12,337	11,083	10,154
固定負債	1,525	2,592	2,499
2 負債合計	13,862	13,675	12,654
純 資 産 の 部			
株主資本	22,816	21,332	22,191
資本金	5,199	5,199	5,199
資本剰余金	5,167	5,146	5,165
利益剰余金	13,074	11,907	12,475
自己株式	△ 625	△ 920	△ 649
評価・換算差額等	603	△ 99	261
その他有価証券評価差額金	24	31	34
為替換算調整勘定	579	△ 130	226
少数株主持分	406	465	541
3 純資産合計	23,826	21,699	22,993
負債純資産合計	37,689	35,374	35,648

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 14,655百万円 13,657百万円 14,121百万円
 2. 1株当たり中間(当期)純利益 45円09銭 53円31銭 96円97銭

※ 百万円未満は切り捨てています。

Point 1 連結資産

現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことにより、流動資産が前期末と比べて18億75百万円増加しました。

Point 2 連結負債

流動負債が21億82百万円増加し、固定負債が9億74百万円減少しました。流動負債については、短期借入金と1年以内返済予定長期借入金の増加が理由としてあげられます。また、固定負債については、長期借入金が10億20百万円減少したことが主な理由です。

Point 3 連結純資産

純資産は23億26百万円となり、前期末と比べて8億32百万円増加しました。その主な理由としては、中間純利益の計上にとともに、利益剰余金が5億99百万円増加したことがあげられます。

連結の範囲に関する事項

次の15社を連結の対象にしています。

ビジョンホームプロダクツ(株)
 ビジョンウィル(株)
 ビジョンハーツ(株)
 PHP兵庫(株) PHP茨城(株)
 ビジョンタヒラ(株) ビジョン真中(株)
 PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.
 PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.

LANSINOH LABORATORIES, INC.
 PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO.,LTD.
 PIGEON LAND (SHANGHAI) CO.,LTD.
 SHANGHAI CHANGNING PIGEON LAND EDUCATION TRAINING CENTER.
 PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD.
 THAI PIGEON CO.,LTD.

持分法の適用に関する事項

次の2社について持分法を適用しています。

P.T. PIGEON INDONESIA
 クラフレックス茨城(株)

● 連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

	第51期中間期 平成19年2月1日から 平成19年7月31日まで	第50期中間期 平成18年2月1日から 平成18年7月31日まで	第50期 平成18年2月1日から 平成19年1月31日まで
4 売上高	23,841	22,092	45,307
売上原価	14,749	13,728	28,180
販売費及び一般管理費	7,576	6,970	14,373
5 営業利益	1,515	1,393	2,754
営業外収益	156	145	351
営業外費用	185	187	360
経常利益	1,486	1,350	2,745
特別利益	87	1,272	1,274
特別損失	8	638	713
税金等調整前中間(当期)純利益	1,565	1,984	3,305
法人税、住民税及び事業税	523	582	973
法人税等調整額	111	307	347
少数株主利益	33	42	68
6 中間(当期)純利益	897	1,052	1,916

※ 百万円未満は切り捨てています。

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

	第51期中間期 平成19年2月1日から 平成19年7月31日まで	第50期中間期 平成18年2月1日から 平成18年7月31日まで	第50期 平成18年2月1日から 平成19年1月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	715	412	2,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 914	782	△ 395
財務活動によるキャッシュ・フロー	572	△ 798	△ 1,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	14	89
現金及び現金同等物の増減額	476	411	776
現金及び現金同等物の期首残高	2,680	1,903	1,903
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,156	2,315	2,680

※ 百万円未満は切り捨てています。

Point 4 連結売上高

国内育児用品事業が堅調、かつ海外事業が総じて好調だったことで育児事業の売上が前年同期比で9.9%増となりました。また、その他事業も5.7%増となり、前年同期比7.9%増の238億41百万円となりました。

Point 5 連結営業利益

育児事業が前年同期比で5.5%増、その他事業が同33.4%増となり、全体の収益確保につながりました。海外事業においては、円安傾向が追い風となり、原油価格の上昇等を吸収できました。

Point 6 連結中間純利益

前中間期においては、グループの事業集約等を目的に実施した本社移転にともなう固定資産売却益を計上した結果、中間純利益が増加しました。当中間期は、このような要因がなくなったことで中間純利益は8億97百万円となりました。

Point 7

連結キャッシュ・フロー計算書

当中間期における現金及び現金同等物は31億56百万円と、期首残高に比べて4億76百万円増加しました。その理由は、税金等調整前中間純利益が15億65百万円、減価償却費が7億2百万円、仕入債務の増加額が5億30百万円、長期・短期借入金の借入および返済による資金の増加が8億89百万円あったものの、売上債権の減少額が10億68百万円、法人税等の支払額が6億18百万円、有形固定資産の取得による支出が6億35百万円となるなど一定の資金の減少要因があったためです。

● 中間連結株主資本等変動計算書 当中間期（平成19年2月1日から平成19年7月31日まで）

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等		
平成19年1月31日残高	5,199	5,165	12,475	△ 649	22,191	34	226	261	541	22,993
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△ 298	—	△ 298	—	—	—	—	△ 298
中間純利益	—	—	897	—	897	—	—	—	—	897
自己株式の処分	—	1	—	25	27	—	—	—	—	27
自己株式の取得	—	—	—	△ 1	△ 1	—	—	—	—	△ 1
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	△ 10	352	342	△ 135	207
中間連結会計期間中の変動額合計	—	1	599	24	625	△ 10	352	342	△ 135	832
平成19年7月31日残高	5,199	5,167	13,074	△ 625	22,816	24	579	603	406	23,826

● 中間株主資本等変動計算書 当中間期（平成19年2月1日から平成19年7月31日まで）

単位：百万円

	株主資本										評価・換算差額等		純資産計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金								利益剰余金合計
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰上利益剰余金							
平成19年1月31日残高	5,199	5,133	31	5,165	332	997	2,020	5,659	9,009	△ 649	18,725	34	34	18,760
中間会計期間中の変動額														
固定資産圧縮積立金取崩	—	—	—	—	—	△ 122	—	122	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△ 298	△ 298	△ 298	—	△ 298	—	—	△ 298
中間純利益	—	—	—	—	—	—	619	619	619	—	619	—	—	619
自己株式の処分	—	—	1	1	—	—	—	—	—	25	27	—	—	27
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 1	△ 1	—	—	△ 1
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 10	△ 10	△ 10
中間会計期間中の変動額合計	—	—	1	1	—	△ 122	—	443	321	24	347	△ 10	△ 10	337
平成19年7月31日残高	5,199	5,133	33	5,167	332	875	2,020	6,103	9,331	△ 625	19,072	24	24	19,097

● 貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

	第51期中間期末 平成19年7月31日現在	第50期中間期末 平成18年7月31日現在	第50期末 平成19年1月31日現在
資産の部			
流動資産	11,663	11,506	10,896
固定資産	16,924	16,636	16,744
資産合計	28,588	28,142	27,640
負債の部			
流動負債	8,698	7,698	7,065
固定負債	791	1,858	1,815
負債合計	9,490	9,556	8,880
純資産の部			
株主資本	19,072	18,553	18,725
資本金	5,199	5,199	5,199
資本剰余金	5,167	5,146	5,165
利益剰余金	9,331	9,127	9,009
自己株式	△ 625	△ 920	△ 649
評価・換算差額等	24	31	34
その他有価証券評価差額金	24	31	34
純資産合計	19,097	18,585	18,760
負債純資産合計	28,588	28,142	27,640

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 7,277百万円 7,214百万円 7,308百万円
 2. 1株当たり中間(当期)純利益 31円14銭 37円51銭 46円46銭

※ 百万円未満は切り捨てています。

● 損益計算書 (要旨)

単位：百万円

	第51期中間期 平成19年2月1日から 平成19年7月31日まで	第50期中間期 平成18年2月1日から 平成18年7月31日まで	第50期 平成18年2月1日から 平成19年1月31日まで
売上高	15,263	15,052	30,701
売上原価	10,048	10,145	20,696
販売費及び一般管理費	4,981	4,645	9,528
営業利益	232	262	475
営業外収益	590	412	643
営業外費用	143	146	275
経常利益	679	528	843
特別利益	93	1,271	1,271
特別損失	4	615	692
税引前中間(当期)純利益	768	1,184	1,422
法人税、住民税及び事業税	99	198	217
法人税等調整額	48	246	286
中間(当期)純利益	619	740	918

※ 百万円未満は切り捨てています。

財務情報 みどころ勘所

EPSとは？

決算書の数値と株価を比較するためには、決算書の数値を1株当たりの数値に置き換えると便利です。EPS (Earnings Per Share) とは、1株当たりの当期純利益を示す指標のことで、当期純利益を発行済株式総数で割ることで算出できます。EPSは、株価が割高か割安かを判断する時に使用されることが多く、株価がEPSの何倍になっているかを同業他社と比較するのが一般的です。ちなみに、株価がEPSの何倍になっているかを示す指標をPER (Price Earnings Ratio/株価収益率) といいます。

設立年月日 昭和32年8月15日

事業内容 育児・マタニティ・女性ケア・
ホームヘルスケア・介護用品等の製造、
販売および輸出入ならびに保育事業

資本の額 5,199,597千円

従業員数 875名

上記は正社員および契約社員の人数です。
従業員数の減少は平成19年4月に子育て支援事業部内の一部
を会社分割によりピジョンハーツ(株)に承継したことによる
ものです。

【主要事業所】

本 社 東京都中央区
事 業 所 茨城県稲敷郡阿見町
物流センター 茨城県稲敷郡阿見町・茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町
研 究 所 茨城県つくばみらい市
営 業 所 札幌・仙台・大宮・東京・名古屋・大阪
広島・福岡 他1ヵ所

株式の状況

(平成19年7月31日現在)

●発行可能株式総数	60,000,000株
●発行済株式の総数	20,275,581株
●株主数	7,169名
●自己株式	368,907株

大株主（上位10名）

持株数(千株) 持株比率(%)

仲田洋一	3,234	15.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,580	12.73
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	1,922	9.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,394	6.88
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	1,219	6.01
ピジョン社員持株会	432	2.14
バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	407	2.01
シティグループプリンシパルインベストメント ジャパンコーポレーションリミティッド	363	1.79
ビービーエイチマシューズアジアパンフィックファンド	334	1.65
ビービーエイチマシューズジャパンファンド	277	1.37

役員

(平成19年10月1日現在)

取締役最高顧問	仲田洋一
代表取締役会長	松村誠一
代表取締役社長	大越昭夫
常務取締役	太田和比古 (海外事業本部兼HHC・介護事業本部担当)
取締役	倉 巖 喬 (お客様相談室兼監査室担当)
取締役	勝木 尚 (開発本部兼ロジスティクス本部担当)
取締役	佐久間 隆 (経営企画本部兼管理本部担当)
常勤監査役	色部文雄
常勤監査役	大藪克実
監査役	西山 茂
監査役	出澤 秀二
執行役員	高坂 功 (経営企画本部長)
執行役員	高島 康 (管理本部長)
執行役員	倉知 康典 (マーケティング本部長)
執行役員	湯田 博毅 (営業本部長)
執行役員	甘利 和久 (開発本部長)
執行役員	小泉 朝敬 (ロジスティクス本部長)
執行役員	山下 茂 (海外事業本部長)
執行役員	赤松 栄治 (子育て支援事業本部長)
執行役員	石上 光志 (HHC・介護事業本部長)

(注) 監査役 西山 茂および出澤 秀二の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主の皆様からたくさんの「声」をお寄せいただき、誠にありがとうございます。
ピジョンは皆様の声を大切に、ご期待にお応えするため努力を重ねてまいります。

Q ヘルスケア事業への新しい取組みについてお聞かせください

A

● ヘルスケア事業 ●

ピジョングループのヘルスケア事業は、1975年に『ハビリス事業部』を発足させたことから始まります。以来、30数年にわたり、高齢者向け市場にかかわってまいりました。その間、商品の提供はもとより、2000年には在宅介護支援サービスを行うピジョン真中株式会社を立ち上げ、また、2004年には施設向け商品を提供する多比良株式会社（現ピジョンタヒラ株）をグループ化し、事業拡大に努めてまいりました。そして、1月には、事業全体を統括する『HHC・介護事業本部』を設置し、より一層のグループ間でのシナジーを図りながら、高齢者向け商品を深耕しております。

● 介護予防用品 ●

本年8月より、介護予防ブランド『リクープ』を立ち上げました。この『リクープ』は、いつまでも健康で楽しく過ごせるための商品の提供、および、情報の提供を行っていくブランドとして位置づけております。「老化が原因の小さな不安」を感じたときにお使いいただける、老化メカニズムの研究成果が生かされた商品を提供することで、少しでも多くの方の「健康的でポジティブな生活」を応援していきたいと考えております。

ピジョングループでは、とくに、「足の機能を衰えさせない」ことが、「全身の運動機能を維持することに効

果的である」、と考えております。そこで、「歩く」ことをひとつのテーマとし、商品の展開を行ってまいります。また、イベント等も積極的に開催し、『リクープ』ブランドの浸透を図るなど、加齢に伴う不安を解消するお手伝いのできるブランドとして育成してまいります。

● 二つのブランド ●

一方で、従来の介護ブランド『ハビナス』におきましても、介護される方、介護する方の双方の生活をサポートする商品を引き続き提供してまいります。今後は、『リクープ』『ハビナス』のふたつのブランドにより、高齢者の皆さまの生活支援企業としてご支持いただけるよう、積極的な商品開発を行ってまいります。

ピジョンの企業理念である「愛＝ハート」をモチーフにした、元気でアクティブなピンクカラーです。1人で歩ける喜びに、片手で少しだけ手を添えるイメージです。



ピジョンの企業理念である「愛＝ハート」を、両手でしっかり包み込むようなカタチにしました。介護する人、受ける人の両方を、やさしく両手で支えるイメージです。

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月中
配当金受領 株主確定日	毎年1月31日(ただし、中間配当を行う場合は7月31日) 最終の株主名簿および実質株主名簿に記載されている株主 または登録株式質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル 平日9:00~17:00)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
手 数 料	名義書換 当社株主名簿管理人へ直接お持込みの場合無料 新株券交付 その新株券発行に係る印紙税相当額
単 元 株 式 数	100株
単元未満株式の 買取請求取扱場所	上記株主名簿管理人がお取り扱いいたします。ただし、実質株主名簿 に登録(株券保管振替制度により株券を預託)されている場合は、 お取引の証券会社等にお申し出ください。
公 告 の 方 法	電子公告* ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない 場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 *URL (http://www.pigeon.co.jp/)

一 ご 案 内

- ① 当社の配当金は、お取引銀行口座への直接入金方法をご利用いただけますと、迅速、確実にお受け取りになれます。
- ② 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-864-490(自動音声対応)で24時間承っておりますので、ご利用ください。



表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園の部」の発明協会会長賞並びに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。



この報告書は、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しています。



全紙100%再生紙を使用

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、右記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。
事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7956



いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます